

平成 26 年度事業報告書(案)

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

社会福祉法人 慈恵会

特別養護老人ホーム座間苑

特別養護老人ホーム 第二座間

1 法人事業の概況

高齢社会を迎え施設入所を希望する方が多く、多数の待機者を抱える中、施設整備は僅々の課題でありました。また、第二座間苑は開所以来毎年余剰金があるものの人件費の増加や修繕料の発生などによりその額は年々減少傾向にあり、近い将来赤字経営が予想されることから収入の増加を図り経営を安定させるため市の介護保険事業計画に基づき 30 床の増床を図ることとし、平成 25 年度から土地購入・建物の設計に着手しております。

第二座間苑増築工事は、第二座間苑は手持ち資金が少なく座間苑、ケアセンター座間苑から長期貸付資金としてそれぞれ 5 千万円を支出し、工事着手金や関係経費の支出に充てるとともに人材の確保が難しい介護職員等を事前に採用し、平成 27 年度の開所に向けて準備を進めたため人件費の増大が見込まれたところでした。

そのような厳しい状況の中でも入所者介護、通所介護、訪問介護、相談業務等において高齢者サービスに積極的に取り組み、第二座間苑増築工事を除けば運営は安定をしております。また、法人運営、第二座間苑増築工事等に関しては、その都度運営報告、増築工事進捗状況等を理事会、評議委員会に報告をいたしました。理事会については第 127 回から 135 回までの計 7 回を開催、評議委員会については第 50 回から 53 回までの計 4 回を開催、また、監事監査については、中期、決算監査を実施しております。

職員関係では慈恵会が実施する諸事業に対し利用者のサービス向上を図る観点から職員から組織されたサービス向上委員会において座間苑、第二座間苑の施設サービスについて他法人の施設を視察するとともに両施設の課題の洗い出しを行い、報告会において改善案を示し利用者サービスの向上に努めたところです。また、施設運営に職員の理解を深めるため幹部職員等からなる代表者会議や全体職員会議を開催し、法人運営の現状等を説明し、職員の理解と積極な協力を努めました。

職員雇用関係では景気の回復とともに人手不足が叫ばれている中、他業種と比較し低賃金といわれる介護職員の人材確保はより困難な状況にあります。とりわけ非常勤職員の確保は退職者が出て確保ができない状況が続いており、そのため雇用が終了した 65 歳以上の職員を再雇用し、退職者の補充をしている現状があります。今後も同様な状況が続くと賃金改定など職員の待遇改善が必要になると考えますが、相対的な人件費比率を考慮し対応を図ってまいります。

平成 27 年度からの第 6 期介護保険事業計画で介護報酬の削減が見込まれるなど今後厳しい施設運営が予想をされる中、県高齢者福祉施設協議会など通じて国、県、市に安定した施設運営に必要な介護報酬の設定の働きかけを行うとと

もに市内の施設と情報交換を図りごみ収集について共同で業者選定に当たり安価な金額で契約しました。今後も施設間の情報交換を密に取り法人運営、施設運営に役立ててまいります。

2 施設事業の概況報告(座間苑 第一)

今年度は、大型修繕・大型備品等の購入を慎み修理と工夫でしのぎましたが、年度後半にインフルエンザが広まり短期入所者の受け入れを押さえたために短期利用者が前年度より少なくなりました。また建物老朽化に伴い35年近く利用している井戸水の水量が下り汲み上げない状況になり水道水に切り替えざるを得ないことになり思わぬ支出がありました。今後も建物の老朽化により故障は、予想していかなければならない。

介護職員処遇改善として昨年度考案した職員腰痛予防の一環として腰痛体操の実施を行い腰痛ベルトの助成金として負担しています。

職員研修では、施設外研修を積極的に参加しいろいろな角度からの処遇確認をすることができたことで職員研鑽につながったと思われます。

また施設利用者には虐待・拘束・事故に関しての処遇上の大きな問題もなく今年度無事終わることができましたが、施設感染に関して職員・面会者・施設訪問業者に対してマスク手洗いを玄関先でお願いして感染予防に努めましたが、シーズン終わりにインフルエンザ感染が広まり一時的に面会を規制し感染した方々を特別に部屋を設けて対応し最小限に食い止めることに努めました。

今年度も家族懇親会を開催することができ昨年以上の家族参加者を迎えることが出来たことは、施設を理解し職員が家族の心境と要望などを直接聞くことができたことは、今後の施設サービスに大きく反映させることができると考えています。

平成26年度は、施設入所者延べ人数17,525人で96%と短期一時入所空きベッドの利用で述べ利用者数2,268人で利用率が88.7%でした。入所者介護度に関しては、要介護5の利用者が27.4%・要介護4の方が42.3%で合計69.7%の方が重度介護者となり、利用者の年齢も最高年齢男性85歳・女性103歳で施設内平均85.8歳になっています。

入所者の入退所状況に関しては、13人方が移動しています内訳として男性1人女性11人の方々に施設内退所5人・病院移動7人で有ったことは精一杯介護した中での結果となっています。

5 有給休暇状況

平成 27 年3月31日現在

	平均所得率	平均保有日数
特別養護老人ホーム座間苑	24%	21 日
ケアセンター座間苑	45%	21 日

※ パート職員含む

6 実習生受入れ状況(ヘルパー実習生は、含まない)

実人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	0	2	2	2	1	1	0	0	0	0	1	0	9

受入れ学校名

神奈川社会福祉専門学校

町田福祉専門学校

YMCA専門学校

7 利用者在苑期間

平成 27 年3月31日現在

期 間	1年未満	1年～3年	4年～7年	8年～10年	10年以上	合 計
男	2	0	3	1	0	6
女	10	14	13	3	4	44
計	12	14	16	4	4	50

8 地区別利用者人数

平成 27 年3月31日現在

	男	女	計	比 率(%)
座間市	2	36	38	76
海老名市	0	6	6	12
相模原市	1	2	3	6
東京都	2	0	2	4
綾瀬市	1	0	1	2
計	6	44	50	100

※ 比率 全体(50)の介護度別比率

9 月別入退状況

平成 26 年度

	入 所				退 所				
	性 別		内 訳		性 別		内 訳		
	男	女	家 庭	病 院 等	男	女	施 設	病 院 等	
4月	1	0	0	1	0	1	1	0	
5月	0	2	0	2	0	2	2	0	
6月	0	1	0	1	0	0	0	0	
7月	0	1	1	0	1	1	0	2	
8月	1	0	1	0	0	2	1	1	
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月	0	3	0	3	0	0	0	0	
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	
12月	0	0	0	0	0	2	0	2	
1月	0	0	0	0	0	2	1	1	
2月	0	0	0	0	0	1	0	1	
3月	0	4	0	4	0	0	0	0	
計	2	11	2	11	1	11	5	7	

10 施設利用者数(月別利用者数)

月 日	短期一時入所者		施設入所者		平成26年度	
	延べ人数		延べ人数		月 別 比 率	
	25年度	26年度	25年度	26年度	短期入所	施設入所
4月	170	177	1,416	1,439	84.2	95.9
5月	222	206	1,439	1,515	94.9	97.7
6月	237	168	1,378	1,459	80	97.3
7月	234	138	1,500	1,525	63.5	98.4
8月	246	202	1,486	1,442	93	93
9月	252	227	1,424	1,410	108	94
10月	262	197	1,433	1,523	90.1	98.3
11月	255	187	1,395	1,500	89	100
12月	249	179	1,408	1,540	82.4	99.3
1月	235	138	1,465	1,439	63.5	92.8
2月	210	180	1,287	1,265	91.8	90.3
3月	249	253	1,283	1,468	117	94.7
計	2,821	2,268	16,914	17,525	88.7	96

※ ベッド数短期一時入所は、7ベッド・施設ベッド数を50ベッド数で比率を出しています。

11 介護度別利用者数(年間延人数)

平成 26 年度

	介護保険延べ人数						計
	支援	要 1	要 2	要 3	要 4	要 5	
短期一時生活	0	118	133	1,171	577	269	2,268
施設入所生活	0	275	1,616	3,417	7,413	4,804	17,525
計	0	258	2,694	4,975	7,246	4,738	19,911

※ 入所ベッド 50床・短期入所ベッド 7床の1年間述べ利用者満所で20,805人

12 診断別入所者状況

平成 26 年度

疾患名	人数	疾患名	人数
脳梗塞	26	消化器疾患	2
高血圧	21	リウマチ	1
心疾患	12	前立腺疾患	1
骨折後遺症	20	ウイルス肝炎	
糖尿病	8	腎臓障害	3
気管支炎	1	精神障害	7
パーキンソン氏病	4	緑内障	
認知症(脳血管)	11	てんかん	3
認知症(アルツハイマー)	17		
甲状腺			
計	120	計	17

13 施設外受診状況

平成 26 年度

	人数	診察科	人数
内科	53	皮膚科	8
歯科	53	泌尿器科	0
精神科	7	腎臓内科	1
整形外科	10	眼科	10
計	123	計	19

14 嘱託医師施設内受診

平成 26 年度

診療	年間回数
内科	40
精神科	24
機能回復訓練	12
歯科	38
計	114

15 栄養摂取量・平均栄養摂取量

平成 26 年度

栄養素名		提供栄養量	推定摂取量
エネルギー	kcal	1,395	1,256
たんぱく質	g	55.8	50.2
脂質	g	27.9	25.0
鉄	mg	7.4	6.7
カルシウム	mg	395	356
ビタミンA	mg	912	821
ビタミンB1	mg	0.64	0.58
ビタミンB2	mg	0.78	0.7
ビタミンC	mg	90	81
食物繊維	g	14.5	13.1
塩分(食塩相当量)	g	7.6	6.8
炭水化物エネルギー比	%	66.0	66.1
たんぱく質エネルギー比	%	16.0	16.0
脂質エネルギー比	%	18.0	17.9

16 食数(特養・ショート・ボランティア含む)

月	食数(25年度)	食数(26年度)
4月	4,788	5,145
5月	5,218	5,258
6月	5,137	5,003
7月	5,483	5,150
8月	5,289	4,966
9月	5,043	5,028
10月	5,330	5,122
11月	5,227	5,267
12月	5,257	5,311
1月	5,175	4,809
2月	4,769	4,515
3月	5,211	5,112
合計	61,929	60,986
平均	5,161	5,082

17 身体状況の把握

平均身長	男性 161.7cm	女性 142.9cm
平均体重	男性 55.0kg	女性 41.0kg
体型指数	肥満25以上	50名中 8%
	やせ18.5以下	50名中 38%

※ 体型指数=体重÷身長

食事形態	常食	29人	治療食	糖尿食	2人
	超キザミ	21人		貧血食	0人
	流動食	0人		減塩食	5人

非常食糧等の備蓄

種 類	アルファ米	レトルトカレー
	白粥	みそ汁
	秋刀魚の蒲焼	かぼちゃのいとし煮、コーンのスープ
	そばろ	ミネラルウォーター

18 ボランティア活動状況(延べ人数)

	クラブ	洗濯	リネン	行事	合計
4月	10	107	24	0	141
5月	10	101	24	0	135
6月	12	86	26	30	154
7月	9	90	33	0	132
8月	12	86	18	25	141
9月	9	90	27	0	126
10月	13	98	27	5	143
11月	8	88	26	0	122
12月	6	91	24	0	121
1月	8	92	25	0	125
2月	12	82	20	0	114
3月	10	69	23	25	127
計	119	1,080	297	85	1,581

施設事業の概況（第二座間苑）

65歳以上の高齢者が25%を超え、4人に1人が高齢者となり、飛躍的に高齢者が増加する中、認知症等により介護を必要とする高齢者も増加しております。一方、女性の社会進出や核家族により独居や高齢者夫婦世帯も増加し、家庭での介護が困難となり施設入所のニーズが高まっております。

少子化の影響は、日本の総人口の減少とともに働き手の中心である生産年齢人口が年々減少しています。合わせてアベノミクスの好影響により景気が大企業を中心に景気が回復し、様々な業種で労働者不足が叫ばれ、特に介護サービスの人手不足は深刻で重労働にもかかわらず介護職員の賃金は他業種と比較しても低額であることなどから退職者が出ても補充ができなかったり、施設整備を行っても介護人材が集まらず、一部開所ができなかったりとその人手不足は他の業種と比較しても人材の確保に苦労を強いられています。

- 1 当苑では現在の入所者50床、短期入所20床ではいずれ施設運営が危ぶまれることや家庭での介護が困難な家族の要望に応えるべく平成26年度から2か年計画で30床施設整備を進め、人材の確保についても早い時期から30床の開所のための人材確保に努めているところです。

そのため、人件費比率が上昇し、増床ための整備費と合わせて26年度の施設運営では赤字が見込まれました。

- 1 近隣市においては施設整備が進み利用者の争奪が厳しい状況にあります。第二座間苑は開所から6年を経過し、広く市民に認識されていますが費用が高額になることから入所者の経済的負担が問題となり、空床が出てもすぐに入所者が決まらない状況が見受けられます。

そのため、居住費や食費の本人負担の軽減は今後の大きな課題となります。

- 1 入所者の状態は、入所期間が長くなることにより重度が進むとともに待機者についても重度の要介護者が多数を占め、入所者の平均介護度は開所当時と比較し年々重度化しています。そのため職員の介護負担は多大となり、職員の介護負担の軽減のためには増員は必要な措置ではありますが、非常勤職員の採用は困難を極め、常勤職員や臨時職員を採用し職員の介護負担の軽減とサービスの向上に努めました。

- 1 利用者に良好なサービスを提供するためには職員の資質の向上をなくしては困難です。

職員研修計画を作成し、積極的に研修に参加させるとともに毎月定期的に介護技術等の勉強会を開催し、資質の向上を図りました。また、介護福祉士の資格者を増やすことは施設の信頼を高め、サービスの向上に欠かせないことから資格取得を推奨し有資格者増員を図りました。

- 1 入所者は定員が決まっており、退所者がでたときは速やかに待機者の中から次の入所者を決定することにより安定的な運営ができますが、20床ある短期入所生活介護の利用者は、絶えず変動しており、その利用者数が施設運営を左右すると言っても過言ではありません。

そのため、サービスの向上を図り利用者に喜んでいただけるサービス提供に努め、利用者の増員に努めました。

- 1 近年、入所者・ご家族等の多くは延命措置を望まず、施設を終の棲家として見取りまでを希望する方が多くおります。そのためユニット（個室対応）ケアの特性を生かし見取りに取り組みました。

1 年齢別入所者状況

平成 27 年 3 月 31 日

年 齢	40歳か ら69歳		70歳から 79歳		80歳から 89歳		90歳から 99歳		99歳以上		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
座間市	1	2	3	5	3	17	1	14		1	47
相模原市											
海老名市								1			1
綾瀬市											
大和市											
愛川町					1						1
合 計	1	2	3	5	4	17	1	15		1	49

2 年 齢

最高年齢 男 91 歳 女 101 歳

最小年齢 男 65 歳 女 57 歳

3 平均年齢 男 80.6 歳

女 87.0 歳

平均年齢 85.8 歳

4 職員状況(正職職員)

特別養護老人ホーム 第二座間苑

平均年齢 40.0 歳

平均勤続年数 4 年 8 ヶ月

5 有給休暇状況

平成 27 年3月31日現在

	平均所得率	平均保有日数
特別養護老人ホーム第二座間苑	37.3%	23.0 日

※ パート職員含む

6 実習生受入れ状況

実人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7 利用者在苑期間

平成 27 年3月31日現在

期 間	1年6か月 未満	2月6ヶ月 未満	4年6か月 未満	5年6か月 未満	6年6か月 未満	合 計
男	4	4	0	1	0	9
女	11	10	10	4	5	40
計	15	14	10	5	5	49

8 利用者の介護度比率

平成 27 年3月31日現在

	男	女	計	比 率%
介護度 5	2	10	12	24.5
介護度 4	0	9	9	18.3
介護度 3	4	15	19	38.8
介護度 2	3	6	9	18.4
介護度 1	0	0	0	0
未登録(入院中)	0	0	0	2
計	9	43	49	100%

※ 比率 全体の介護度別比率

9 月別入退状況

平成 26 年度

	入 所									
	性別		内 訳						計	
	男	女	家庭	老健	病院	施設	その他			
4月	0	3	3	0	0	0	0	0	3	
5月	1	1	2	0	0	1	0	0	2	
6月	1	0	1	0	0	1	0	0	1	
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月	0	2	1	1	0	2	0	0	2	
10月	0	1	1	0	0	0	0	0	1	
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1月	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
2月	1	2	2	1	0	0	0	0	3	
3月	1	1	2	0	0	0	0	0	2	
計	4	11	13	2	0	4	0	0	15	

	退 所									
	性別		内 訳						計	
	男	女	家庭	老健	病院	施設	死亡			
4月	1	0	0	0	0	0	0	1	1	
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8月	0	1	0	0	0	0	0	1	1	
9月	0	2	0	0	0	0	0	2	2	
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12月	0	3	0	0	0	0	0	3	3	
1月	0	2	0	0	0	0	0	2	2	
2月	0	2	0	0	0	0	0	2	2	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	1	10	0	0	0	0	0	11	11	

10 診断別入所者状況

平成 26 年度

疾患名	人数	疾患名	人数
脳梗塞	12	消化器疾患	21
高血圧	24	リウマチ	1
心疾患	16	前立腺疾患	3
骨折後遺症	5	ウィルス肝炎	0
糖尿病	5	腎臓障害	2
気管支炎	1	精神障害	10
パーキンソン氏病	1	緑内障	1
認知症(脳血管)	14	てんかん	9
認知症(アルツハイマー)	22		
甲状腺	2		
計	102	計	47

11 施設内外受診状況(実人数)

平成 26 年度

診察科	人数	診察科	人数
内科	49	皮膚科	10
歯科	6	泌尿器科	8
精神科	4	腎臓内科	2
整形外科	6	眼科	2
計	65	計	22

12 嘱託医師施設内受診

平成 26 年度

診療	年間回数
内科	48
精神科	0
機能回復訓練	0
歯科	15
計	63

13 栄養摂取量

平均栄養摂取量

平成 26 年度

栄養素名		提供栄養量	推定摂取量
エネルギー	kcal	1,395	1,256
たんぱく質	g	55.8	50.2
脂質	g	27.9	25
鉄	mg	7.4	6.7
カルシウム	mg	395	356
ビタミンA	mg	912	821
ビタミンB1	mg	0.64	0.58
ビタミンB2	mg	0.78	0.70
ビタミンC	mg	90	81
食物繊維	g	14.5	13.1
塩分(食塩相当量)	g	7.6	6.8
炭水化物エネルギー比	%	66.0	66.0
たんぱく質エネルギー比	%	18.0	18.0
脂質エネルギー比	%	16.0	16.0

14 食数(特養・ショート・ボランティア含む)

月	食数(25年度)	食数(26年度)
4月	6,002	5,737
5月	5,744	5,996
6月	5,512	6,498
7月	5,663	6,159
8月	5,545	6,285
9月	5,333	6,137
10月	5,753	6,309
11月	5,399	5,807
12月	5,737	5,798
1月	6,205	6,036
2月	5,662	5,580
3月	5,566	6,184
合計	67,867	72,526

15 身体状況の把握

平均身長	男性	163.5 cm	女性	145.3 cm
平均体重	男性	49.1 kg	女性	44.8 kg
体型指数	肥満	25 以上	50名中	8 %
	やせ	18.5以下	50名中	25 %

※ 体型指数=体重÷身長

食事形態	常食	37 人	治療食	糖尿食	0 人
	超刻み食	2 人		貧血食	0 人
	流動食	1 人		減塩食	0 人
	経管	6 人			

非常食糧等の備蓄

種 類	アルファ米	レトルトカレー
	白粥	みそ汁
	秋刀魚の蒲焼	かぼちゃのいとこ煮、豆と野菜のスープ
	ミネストローネ	ミネラルウォーター
	切り干し大根煮	ひじき煮